

資料

八ッ場ダム事業費増額の内訳(単位:億円)

1. 地すべり等安全対策に係わる変更	141
2. 地質条件の明確化等による変更	202
3. 用地取得難航等による変更	13
4. 耐震化による変更	3
5. 埋蔵文化財対応等による変更	88
6. 洪水や大雪対応等による変更	8
7. 公共工事調達単価の変化等による変更	233
8. 消費税率の変更	32
合 計	720

茨城の水問題要約 (保有水源は水土地課取材による)

1986年八ッ場ダム基本計画時の2000年想定人口:420万人(昭和53年茨城県水道整備基本構想)
2013年「平成23年度茨城県基本計画」2020年度想定人口285万人

■いばらき水のマスタープランの変遷

計画年度	達成年度	人口予測	給水人口	水道普及率	1日最大給水量	1人1日最大給水量
1991年度	2010年	403万人	393万人	97.5%	198.2万ト	505.00
1996年度	2010年	370万人	362万人	97.4%	145.9万ト	403.20
2001年度	2020年	323万人	323万人	100%	164.0万ト	508.00
2007年案	2020年	297万人	297万人	100%	133.8万ト	450.00

■茨城県の保有水源(湯西川ダム完成後)

県営・市町村水道

霞ヶ浦開発	37.2万ト/日
河川水	101.9万ト/日
地下水	30.7万ト/日

合 計 169.8万ト/日

県営工業水道(給水量ベース)

霞ヶ浦開発	119.4万ト/日
河川水	21.3万ト/日
地下水	1.0万ト/日
霞ヶ浦開発の県保有分	7.4万ト/日

合 計 149.5万ト/日

■水道用水実績

年 度	県人口 (万人)	給水人口 (万人)	1日最大給水量 (万ト/日)	1人1日最大給水量 (ℓ/日)
2007年	297.2	270.7	103.8	383
2008年	297.2	271.8	101.7	374
2009年	396.8	272.5	101.0	371
2010年	296.7	273.4	106.8	391
2011年	295.7	273.4	102.6	375
2012年	294.6	273.0	98.9	362
2013年	292.2	272.7	98.8	362
2014年	291.1	272.6	96.7	354

■2014 年度水道用水実績(単位:万トン/日)

保有水源	1日最大給水量	給水人口	1人1日最大給水量	余剰水
169.8	96.7	273万人	3540	73.1

■2014 年度県営工業用水道実績(単位:万トン/日)

保有水源	契約水量	1日最大配水量	契約余剰水	配水率	余剰水
149.5	104.5	68.3	36.2	65.4%	81.2

■2014 年度都市用水(水道用水+工業用水)実績(単位:万トン/日)

水道用水保有水源	工業用水保有水源	保有水源合計	2014 年度実績	余剰水
169.8万トン	149.5万トン	319.3万トン	165.0万トン	154.3万トン

■茨城県が参加する水源開発(単位:万トン/日)

霞ヶ浦導水	水道用水	31.3	工業用水	13.6	合計	44.9
八ッ場ダム	水道用水	9.4				
思川開発	水道用水	5.1	※古河市 五霞町			
合計	水道用水	45.8	工業用水	13.6	合計	59.4
現在保有水源	水道用水	169.8	工業用水	149.5	合計	319.3
将来保有水源	水道用水	215.6	工業用水	163.1	合計	378.7

■霞ヶ浦開発の利用状況 単位:万トン/日

		開発水量	利用水量	余剰水	利用率%
茨城県	工業用水	119.8	62.2	57.6	51.9
	水道用水	45.3	27.6	17.7	60.9
	農業用水	156.6	72.6	84.0	46.4
	小計	321.7	162.4	159.3	50.5
東京都、千葉県		49.2	0.0	49.2	0.0
合計		370.8	162.4	208.5	43.8

河川法 63 条

「国土交通大臣が行なう河川の管理により、第六十条第一項の規定により当該管理に要する費用の一部を負担する都府県以外の都府県が著しく利益を受ける場合においては、国土交通大臣は、その受益の限度において、同項の規定により当該都府県が負担すべき費用の一部を当該利益を受ける都府県に負担させることができる」